

8. 20広島豪雨災害における 男女共同参画の視点での避難所対応

広島市男女共同参画推進センター
(ゆいぽーと)

センター長 信政 ちえ子

「広島市地域防災計画」を平成25年9月に改正し、 男女共同参画推進センターの役割を明記

【平常時】

- ・自主防災組織のリーダーに対し、男女共同参画推進センターで実施する学習や研修への参加を促す
- ・自主防災組織等の地域活動への女性の参加意欲を醸成し、女性リーダーの育成を図る

【災害時】

- ・男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営を確保するため、男女共同参画課と連携して、避難者からの相談を受け、必要な指導・支援に努める

8. 20土砂災害の概要



安佐北区三入南・可部町地区 [死者 2 名]



安佐北区可部東地区 [死者 4 名]



安佐南区八木地区 [死者 5 2 名]



安佐南区山本地区 [死者 2 名]



安佐南区緑井地区 [死者 1 4 名]



安佐南区八木地区(52名死亡)の状況

避難所
(梅林小学校)

避難所の状況



就寝スペース



生活物資



更衣室(試着室)



仮設トイレ

避難所の状況



【女性消防団】

避難所の掃除、物資の整理、避難者からの心配事の相談など、女性ならではの、きめ細やかな心配りで活動



【段ボールベッド】

- ・直接床に寝る場合と比べ、身体への負担が軽減
- ・隣同士が、完全にセパレートされない程度の高さ(就寝時に隠れる程度)でプライバシーを適度に確保

避難所の状況

- ・夏休み期間で教室の利用が可能
- ・避難者の多くが自宅と避難所を往復



避難所が生活の場の全てではない状況



- 間仕切り・更衣室・授乳室の利用は、ほとんどなし
 - ・教室の利用が可能でプライバシーの確保が容易
 - ・高齢者が多く、プライバシーより、つながりを重視
 - ・帰宅時や入浴時に着替える避難者が多い
 - ・乳幼児のいる避難者は、ほとんどなし

○仮設トイレの利用なし(校舎のトイレが利用可能)

○入浴問題なし(近隣施設が避難者に風呂を無料提供)

○物資が豊富(余り過ぎる程の支援物資あり)

○生活環境の要望なし(生活再建の悩みが大多数)